

令和6年度 第2回文化財保護審議会 議事要旨

日 時 令和7年3月24日(月) 10時～

会 場 裾野市生涯学習センター 学習室2

- ◆出席者 ・ 委員：田口健一(委員長)、佐藤孝子(副委員長)、長谷川博、柴田敬紀、勝又俊博、
倉澤庄次郎、芹澤隆伸、中西章夫(順不同)
・ (事務局)裾野市生涯学習課：課長 古谷伸導、係長 高橋玲子、主査 志田千麻

1 開 会

2 委員長あいさつ(田口委員長)
田口委員長よりあいさつ

3 報告事項

- 令和6年度事業報告
事務局から説明

4 協議事項(○は委員の発言)

事務局から説明

- 令和7年度事業計画について

○新規採用職員向けに文化財の研修が予定されているが、新規採用教員、他市町から異動してくる教員にも文化財を知ってもらう機会を用意されたい。

○個々の教員に対してではなく、学校全体として地域の歴史や文化財への意識を持ってもらうため、校長へのアプローチも必要である。

○郷土史だよりなどもデータ提供するなど、文化財サイドから積極的に情報発信するべき。
→市で持っているものを活かしていないのは生涯学習課の責任、既存カリキュラムに入れ込むなど工夫したい

- 「楽しい郷土史だより」について

○今年度のテーマを引継ぎつつ、地域を裾野市周辺に広げてはどうか。時代を豊臣の小田原攻めに絞れば、市内の出来事も織り込むことができる。

○回覧では読まない人が多いと想定される。かつてのように全戸配布に戻せないか。

→テーマは提案いただいたもので検討を進める。市民への発信については方法を研究する。

- 文化財の新規指定について

○所有者の申請前に、文化財保護審議会として実物を見る必要がある。

○文化財指定は、文化財の保護・市民の文化財愛護意識高揚のためにも積極的にしていくべきである。

○一方で指定後の防犯や、指定前の修繕の必要性など課題も多い。

→修繕については民間の補助金活用も検討したい。必要な指定はしていく。

5 その他

事務局より説明

6 閉 会(佐藤副委員長)